

プラットフォームのサービスメニュー と価格に関する資料

本資料について

現在設計中サービスメニュー及び価格表の概要を、事業委員会向けの資料として以下3つの観点でまとめております。

正式には11月に、この概要を詳細化（SLAなども含む）したものをご提示予定

以下本日の資料構成

「サービスのポイント（特徴）」

「サービスの構成と概要」

「A. 導入時に関するサービス構成と概要」

「B. 利用時に関するサービス構成と概要」

「C. プラットフォームの構成機能とその概要」

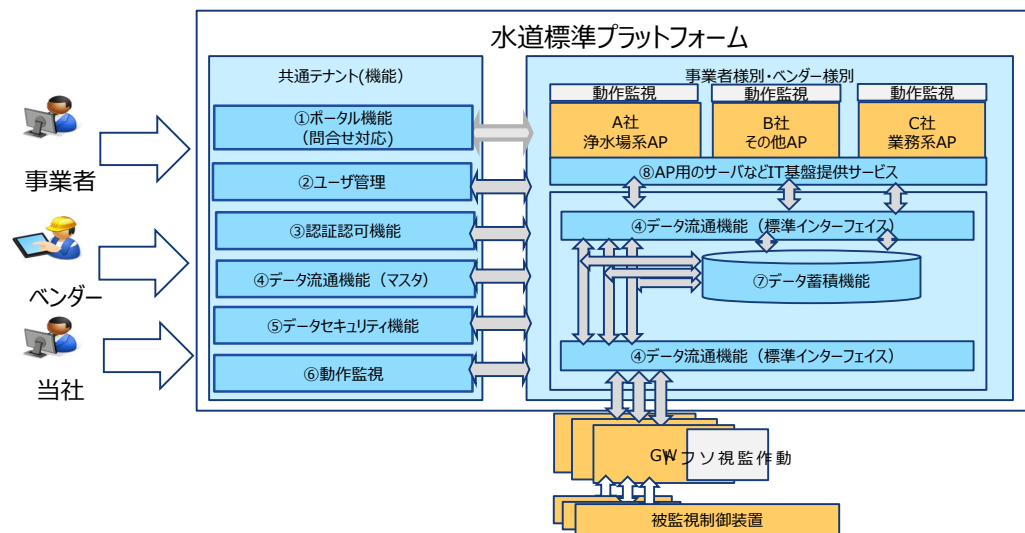
「価格表について（8月にご提示した暫定版）」

サービスのポイント（特徴）

サービスのポイント（特徴）

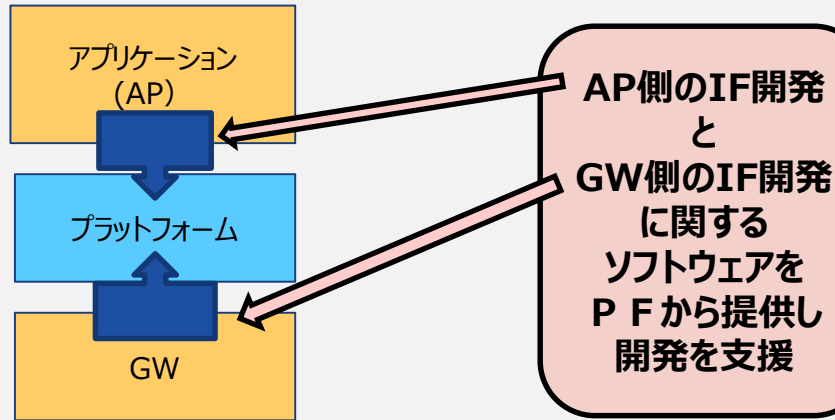
本日の「資料1」でご説明したデータ流通・蓄積機能を提供しベンダー同士が連携ができる環境及び割り勘効果を齎す共通的なサービスを提供することを前提に、「導入」「利用時」としてサービスメニューを検討しています。ここではサービスのポイント（特徴）についてまとめております。

種類	区別	ポイント（特徴）	備考
A.導入時のサービス	a.事業者向け	* 事業者の導入検討を支援するサービスを提供	本資料P10
	b.ベンダー向け	* ベンダーのアプリ既存資産から開発しやすい支援	本資料P4(P10)
		* ベンダーが事業者に横展開しやすい仕組みを提供	本資料P4(P10)
B.利用時のサービス	a.事業者向け	* 事業者が安心して活用できるセキュリティを提供	本資料P5(P18)
		* 事業者からパソコン環境が充実する提供	本資料P6(P15)
	b.ベンダー向け	* ベンダーのアプリケーションの維持と保守に集中できる環境を提供	本資料P7(P19)
	c.双方向向け	* システム異常発生時のベンダーとの連携・復旧対応に関するサービス	本資料P7(P12)



A.導入時のサービス b.ベンダー向けのポイント（特徴）

ベンダーの開発を支援
→ソフトウェアの提供



ベンダーが事業者向けに容易に展開可能

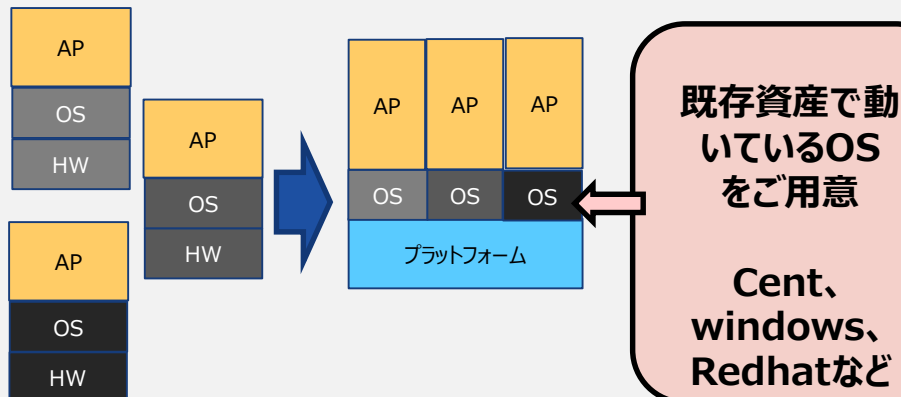
プラットフォームにあるベンダーのアプリケーションが
容易に、短期間にサービス提供できる仕組み

標準インターフェイスは同一であるため、データベースへのデータの
アクセス方式が統一されアプリケーションが容易に展開可能

データ流通機能があるので反映した事業者のデータ内容を簡単に
吸収でき展開しやすい

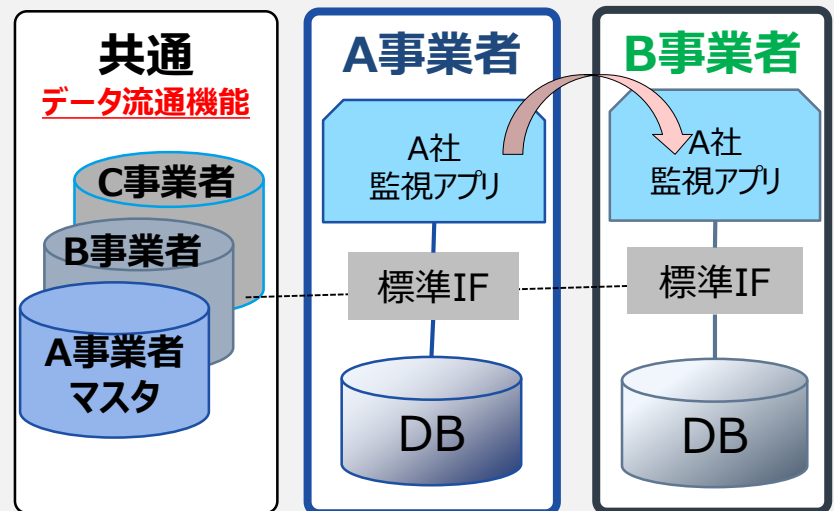
コンテナ技術、VMイメージを提供され、アプリケーションの構築が
迅速に可能

ベンダーの開発を支援
→今使っているサーバ環境を提供



共通

データ流通機能



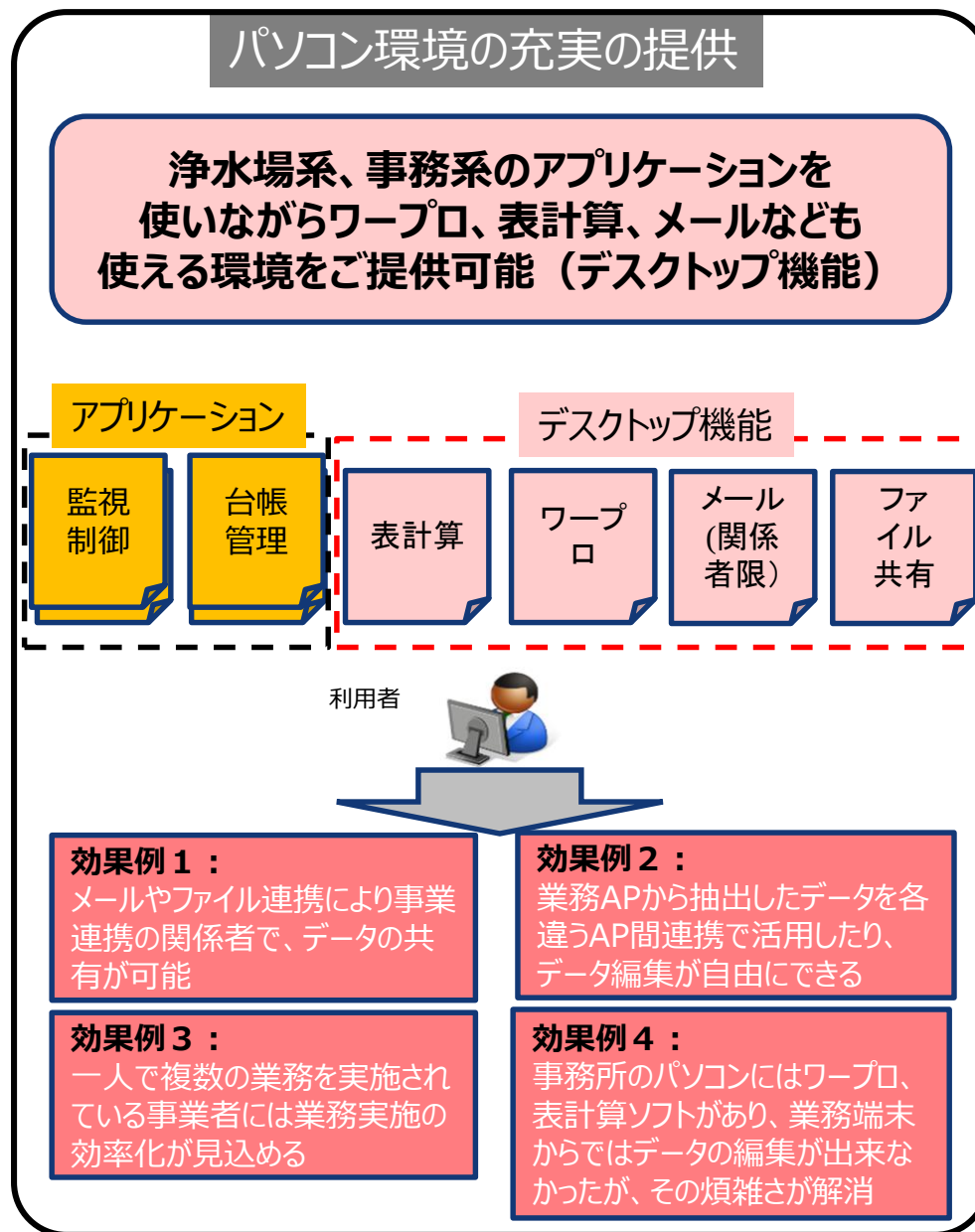
B.利用時のサービス a.事業者向けのポイント（特徴）

事業者が安心して活用できるセキュリティを提供

自治体の情報基盤として広く利用されている総合行政ネットワーク（LGWAN）のセキュリティ要件と、同等の以上のセキュリティレベルを確保する。

出典	LGAWAなどでの設計・運用指針の内容	水道標準プラットフォームでの対応
「総合行政ネットワークASPガイドライン第5.0版」p.4	セキュリティ設計書に基づき、通信経路におけるデータの暗号化、セキュリティ装置の設置及び侵入検知システムの設置等具体的な対策を講じる	・閉域網回線での接続のみ許容する。（インターネットVPNは許容しない。）インターネットが接続する仕組みは別構築とする。 ・通信経路の暗号化（HTTP(S)、MQTT(S)、SSH）及び、公開鍵暗号方式を利用したデータの暗号化を実施
	ネットワーク監視、システム構成情報管理、障害履歴管理、コンテンツ管理などにより、その運用を的確に行う。	システムを構成するサーバ、機器、ネットワーク等の状態を監視する為の監視機能を提供する。監視SW(Zabbix)を用い、原則全ノードに監視Agentを導入し監視及び異常検知を実現する。
	通信回線網及びアプリケーションサービスに対し、常時的確な監視を行い、24時間の安定的な運用を目標とする。	アプリケーションに監視サービス(ZabbixによるAgent監視)を提供し、アプリケーション毎に監視設定が可能とする。通信回線網の監視は、テナント間のノード疎通監視により検知する。
	運用管理に関する規程を整備し、その厳格な運用を行う。	LGWANの規程を参照して、水道標準プラットフォームとしての運用規程を策定し、規程に準拠した運用を実施する。
「総合行政ネットワーク（LGWAN）の概要」p.16	ファイアウォールによる防御ILGWANの各種サーバ群をファイアウォールによって侵入の脅威から防御	閉域網回線での接続のみ許容する。（インターネットVPNは許容しない。）
	通信経路の暗号化による盗聴防止ILGWANの通信経路を暗号化し、盗聴防止策としています。	通信経路の暗号化（HTTP(S)、MQTT(S)、SSH）及び、公開鍵暗号方式を利用したデータの暗号化を実施する。
	侵入検知機能（IDS：Intrusion detection System）ILGWANにおいては、地方公共団体間、都道府県ノード間での直接通信を制限し、全ての通信を侵入検知機能（IDS）で監視することで、不正アクセスの検知を行っています。	IDS（不正侵入検知）、IPS（不正侵入防止）による不正アクセス対策を実施する。（システム構築に用いるIaaSクラウドサービスの提供サービスを利用する。）
	SOC（Security Operation Center）の設置I専門家による24時間365日のセキュリティ監視を行っています。	障害発生時には、即座に対処できるような連絡体制を用意する。
	公開鍵暗号方式による組織認証の実施I認証技術による情報の「盗聴」「改ざん」「なりすまし」「事後否認」を防止しています。	SSL相互認証及び公開鍵暗号方式を利用した暗号化を実施する。

B.利用時のサービス a.事業者向けのポイント（特徴）



B.利用時のサービス b.ベンダー向け/C.双方向けのポイント(特徴)

様々なサービスの提供

プラットフォームから必要なサービス・機能を提供し
ベンダー側のアプリケーションを開発を支援

必要なサービス

アプリケーションの
処理エラーチェックと解析

AP独自利用ミドルウェア
のセキュリティパッチ

証明書反映

NWセキュリティ監視

ストレージ容量監視・確保

ユーザー管理

ID管理(AP,GW,設備等)

証明書更新

OS・PF提供ミドルウェアの
セキュリティパッチ

HW保守

ネットワーク保守

オンプレ

従来の
範囲

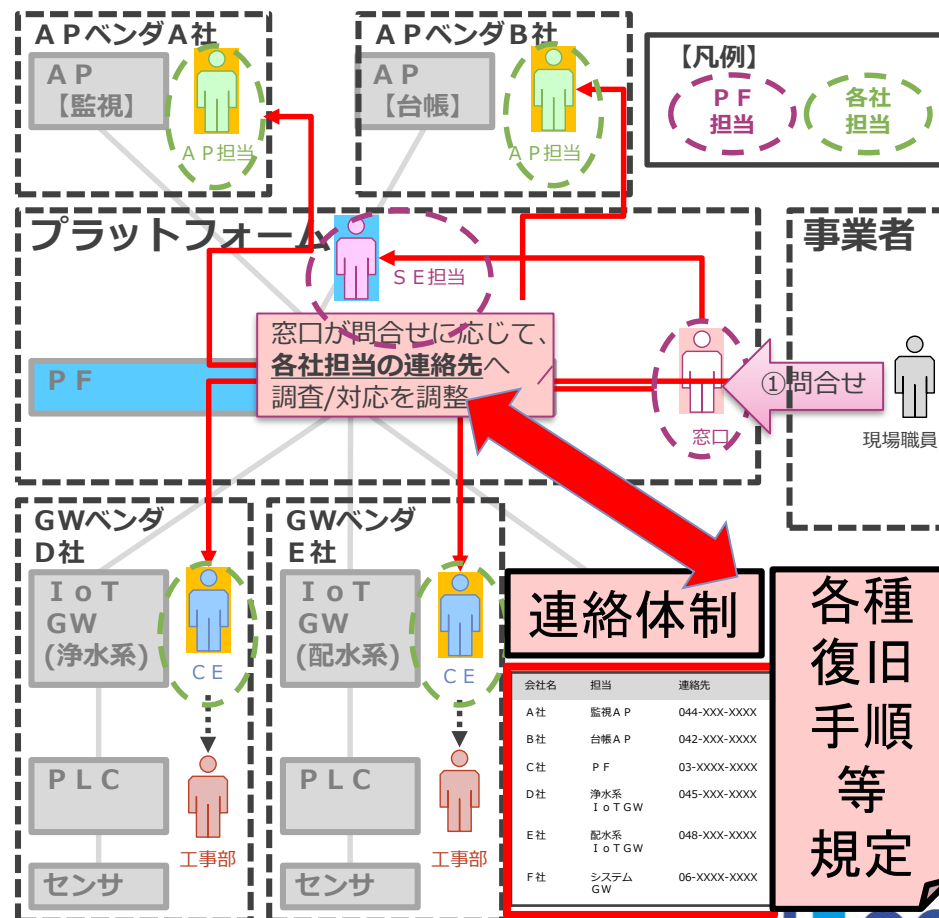
P F

ベンダー
範囲

プラット
フォーム
範囲

異常時の連携サービスの提供

ベンダーとプラットフォームの以下連携体制に加え、システム・回線異常時の復旧仕様・手順も明らかにして運営

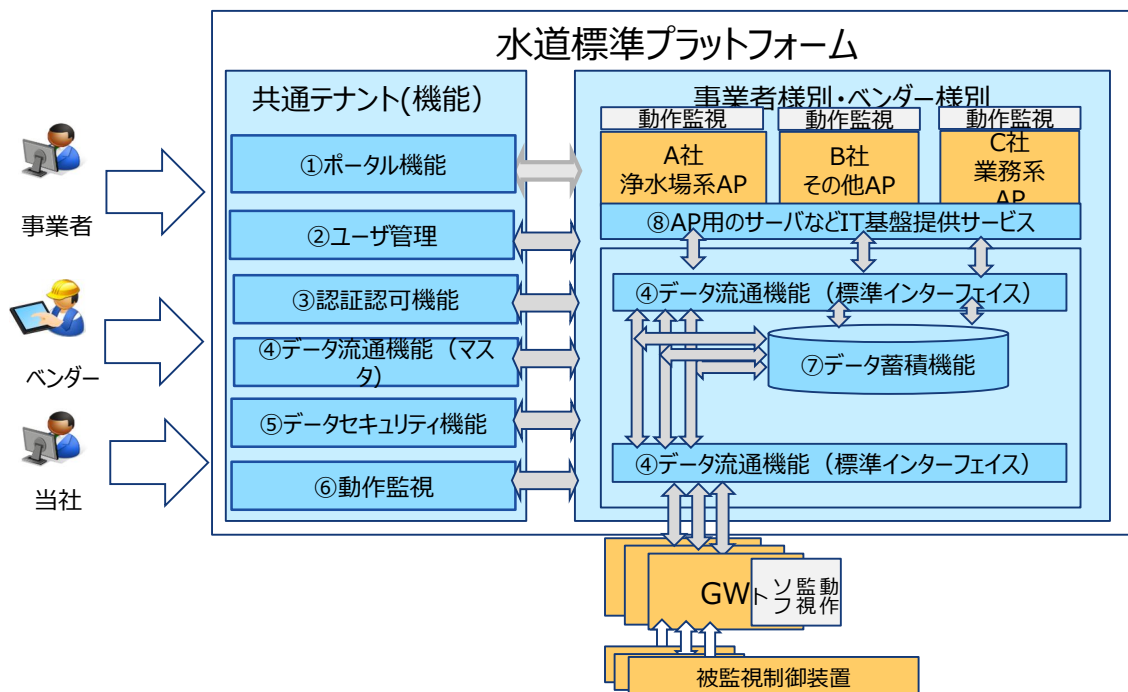


サービス構成と概要

A. 導入時に関するサービス構成と概要

A. 導入時に関するサービス構成と概要

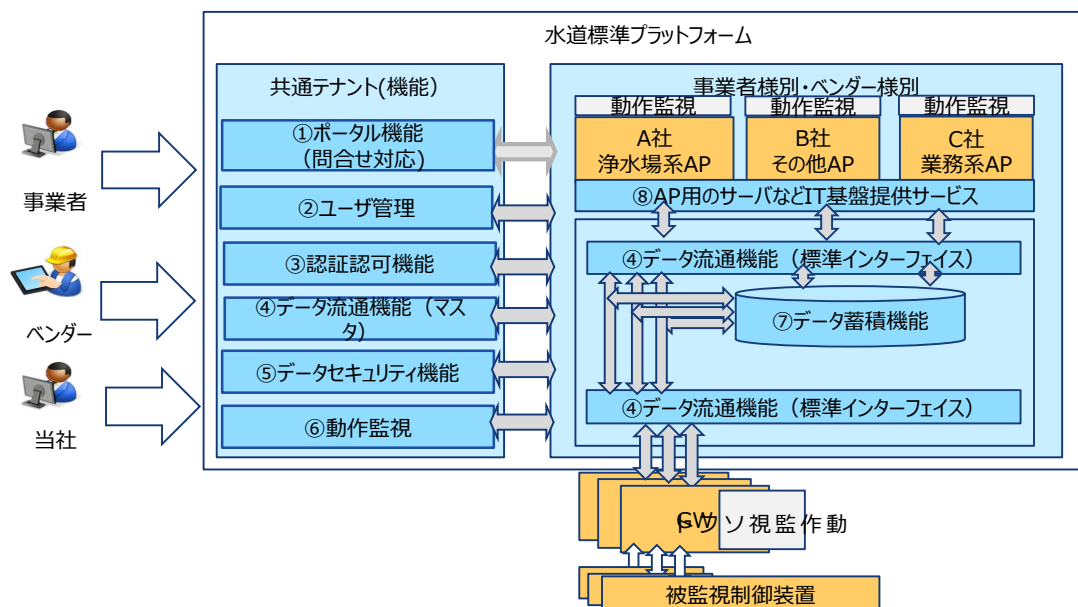
サービス名	概要	備考
1) 導入コンサルティングサービス	＜事業者向け＞ システム導入検討に関する支援するサービスを提供します。→システム概要設計、コストを算出し資料提供をします。	お見積もり/営業活動
2) 導入に向けた各種プラットフォーム機能利用サービス	アプリケーションやGWを活用したシステムを構築中に、プラットフォームのすべての機能をご要望に沿って提供するサービスです。 ・プラットフォーム接続に関する開発に必要なIF資材も無償でご提供（ベンダーの希望に合わせて）	利用に応じた課金
3) 導入に向けた試験サービス	アプリケーションやGWを活用したシステムを構築中に、事業者様・ベンダー様と試験調整などを連携するサービスです。	利用に応じた課金



B. 利用時に関するサービス構成と概要

B. 利用時に関するサービス構成と概要

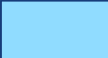
サービス名	概要	備考
1) 共通テナント利用サービス	＜事業者向け＞ 各アプリケーションに接続する機能／問合せ対応をする機能／ユーザを管理・認証する機能／データ流通機能／セキュリティを提供する機能／動作監視をする機能／バックアップなどの機能／その他オプションで使える共通機能	利用に応じた課金
2) 事業者テナント利用サービス	＜事業者向け＞：データを蓄積するサービス+事業者専用のアプリケーションを配置するサービスを提供する	利用に応じた課金
3) ベンダーテナント利用サービス	＜ベンダー向け＞：複数の事業者向けにベンダーが提供するアプリケーションを配置できる必要なサービスを提供する	利用に応じた課金 ベンダー様とJECCと契約
4) 全体システム利用サービス	＜事業者向け＞：プラットフォームの機能、アプリケーション、GWが全体として正常に動くために運用保守する機能サービス及びアプリケーションを利用するサービスをまとめて事業者に対応するサービス	利用に応じた課金 ベンダー様とJECCと契約

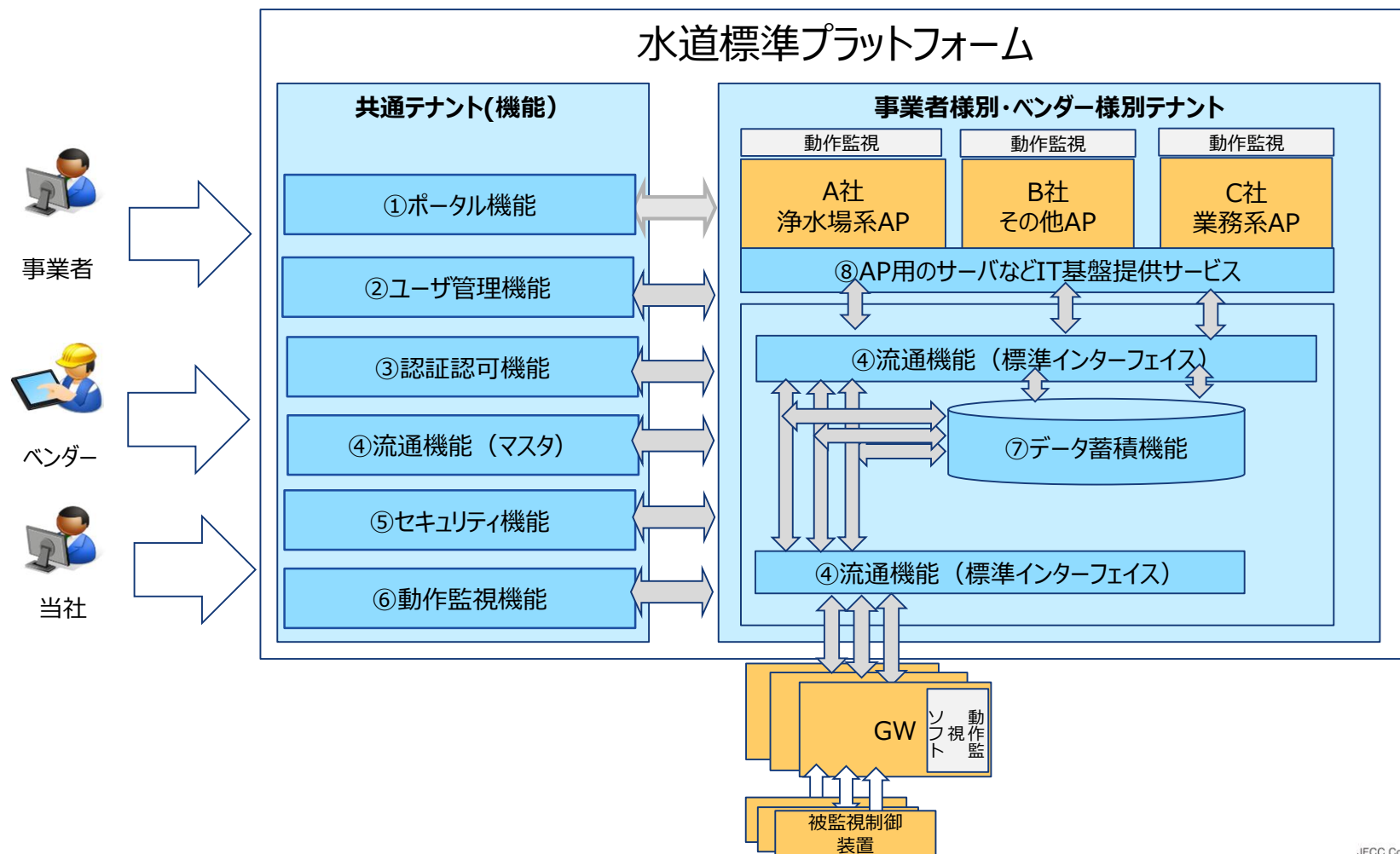


C. プラットフォームの構成機能とその概要

C. プラットフォームの構成機能とその概要

上述のA. Bでご説明したサービスを実現するために構成する8つの機能サービスについて概略を説明します

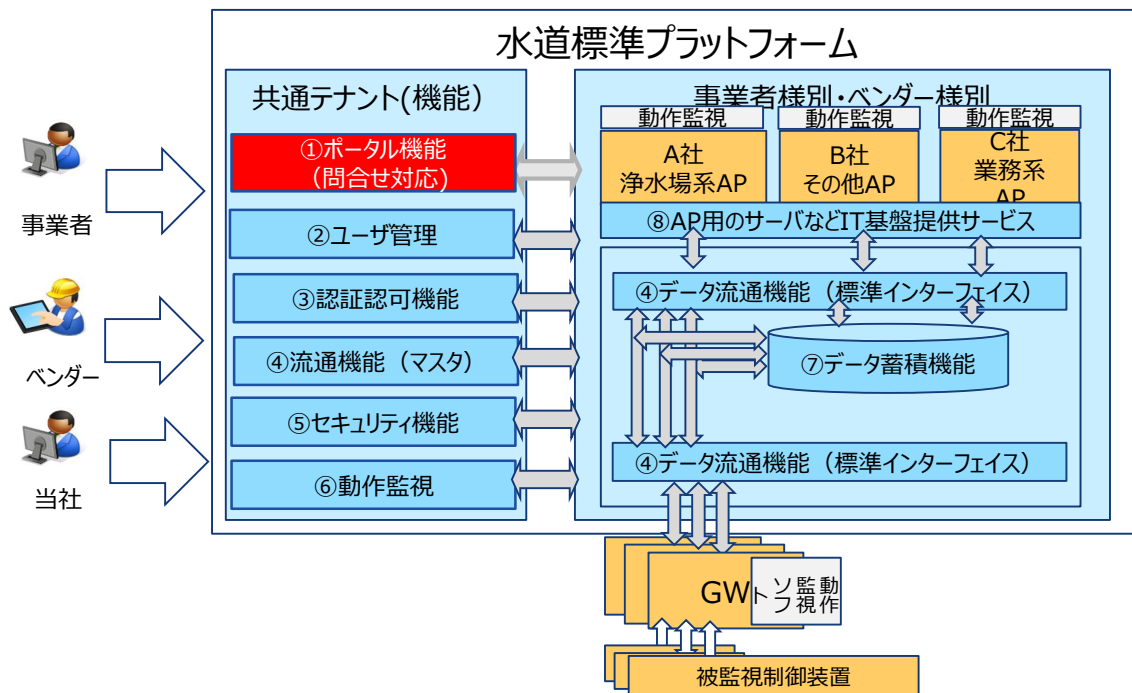
プラットフォームとして青色の部分  を構築し機能をご提供、オレンジ色の部分  をベンダー様対応範囲



①ポータル機能サービスの概要

①は事業者が共通的に利用するポータル画面（機能）などプラットフォームの以下共通的な機能を提供
＜主なサービスの概要：課金形態＞

- * 利用者が各ベンダーのアプリケーションにアクセスできる画面などを提供するサービス＜利用するアプリ数で課金＞
- * 事業者からの問い合わせなどをプラットフォームやベンダーに対して受け付け/確認/回答するサービス（障害時の1次切り分けを実施することを含む）＜アプリ利用に応じて課金＞
- * プラットフォーム、アプリケーション、GWなどシステム全体を最適な状態に維持するサービス（バックアップ含む）＜アプリ、GW数に応じて課金＞
- * システム・回線の異常が発生した時に障害を知らせ復旧に向けて対応するサービス＜アプリ、GW数に応じて課金＞
- * 事業者のデータをCSVなどのフォーマットで提供することができるサービス＜提供可能：別途利用見積提示＞
- * パソコン環境で通常使うワードソフトなどを提供するサービス＜提供可能：別途利用見積提示＞



② ユーザ管理機能サービスの概要

②は利用する事業者／ベンダーのユーザを管理する機能を提供

＜主なサービスの概要：課金形態＞

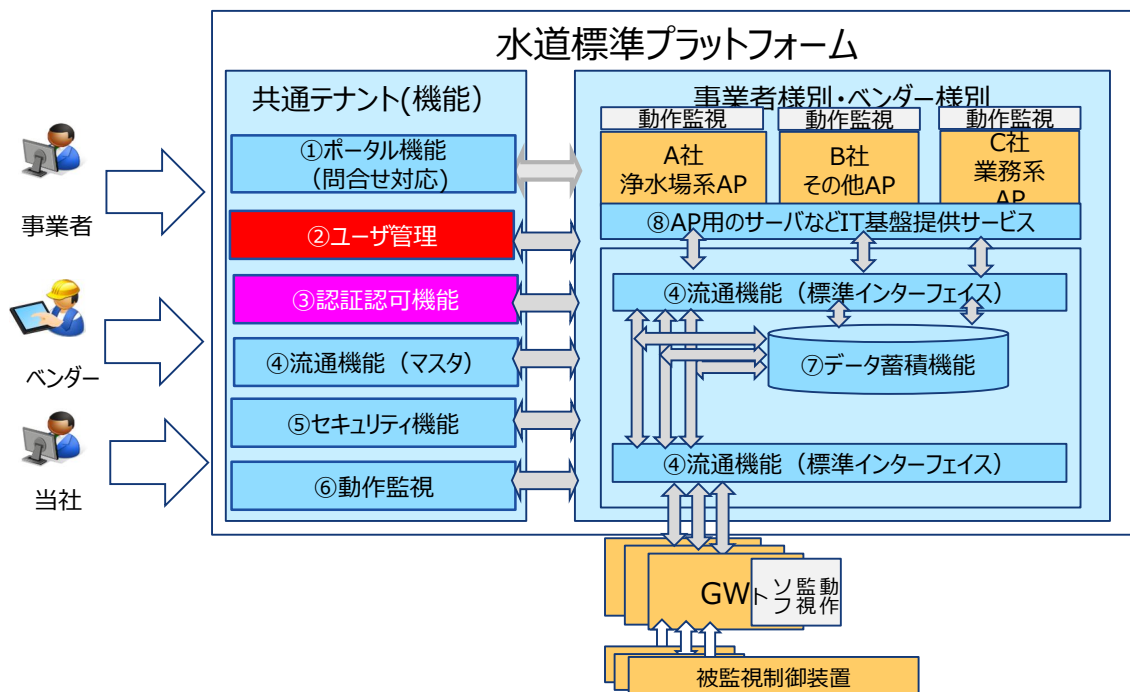
＊活用できるユーザを登録・管理します。
＊ベンダーの使用者などを登録できます
→ベンダー側の登録には事業者の承認が前提となっています。＜利用数に応じて課金＞

③ 認証認可機能サービスの概要

③はユーザー等がアクセス範囲を管理する機能を提供

＜主なサービスの概要：課金形態＞

＊事業者ユーザ、ベンダーユーザ及びAPがプラットフォームの各機能に対してどこまで利用できるか権限を与えるサービス（登録には事業者の承認が前提となっています）＜利用数に応じて課金＞



④ 流通機能サービスの概要

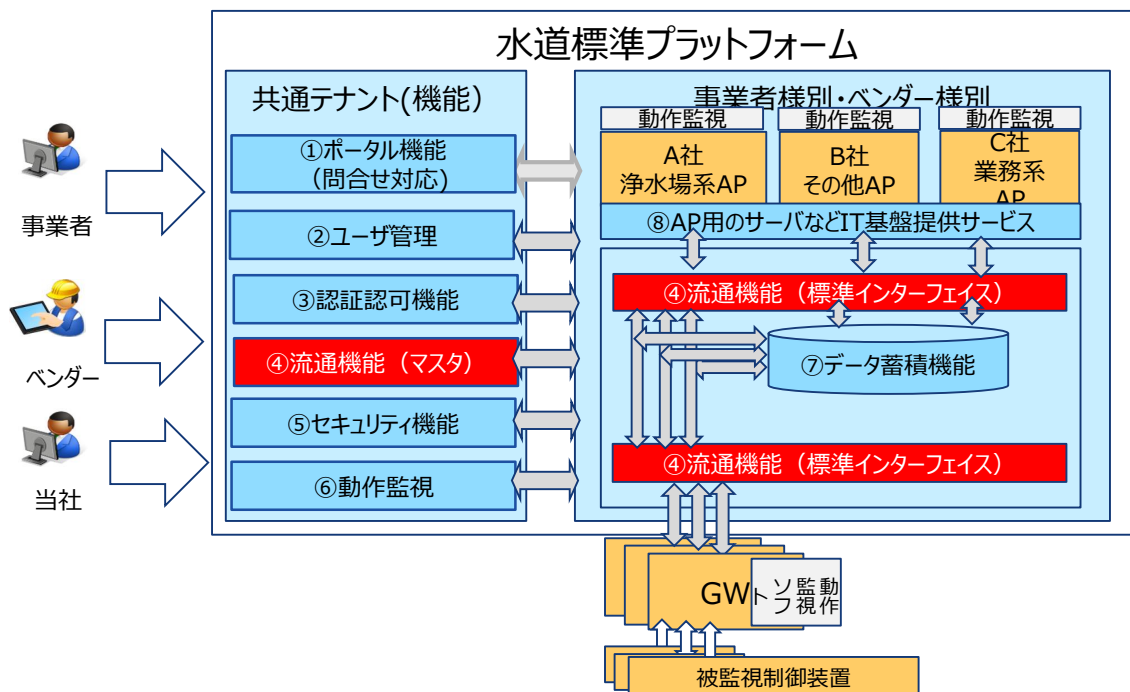
④は、データの流通を提供するサービス

<主なサービスの概要：課金形態>

アプリケーションが標準インターフェイスにアクセスすることで、必要なデータが取得・参照でき、またアプリケーションが処理した結果を格納することができるサービス<流通するデータ項目数に応じて課金>

<補足> それを実現する仕組みについて

マスタ機能には、事業者のデータとして、どんなデータが蓄積（登録）されているデータを、マスタ機能に登録します。各アプリケーションはマスタ機能にアクセスして、データのカatalogを確認して、標準インターフェイスにアクセスして、データを取得できます。



⑤セキュリティ機能サービスの概要

⑥動作監視機能サービスの概要

⑤はセキュリティの設定を提供するサービス

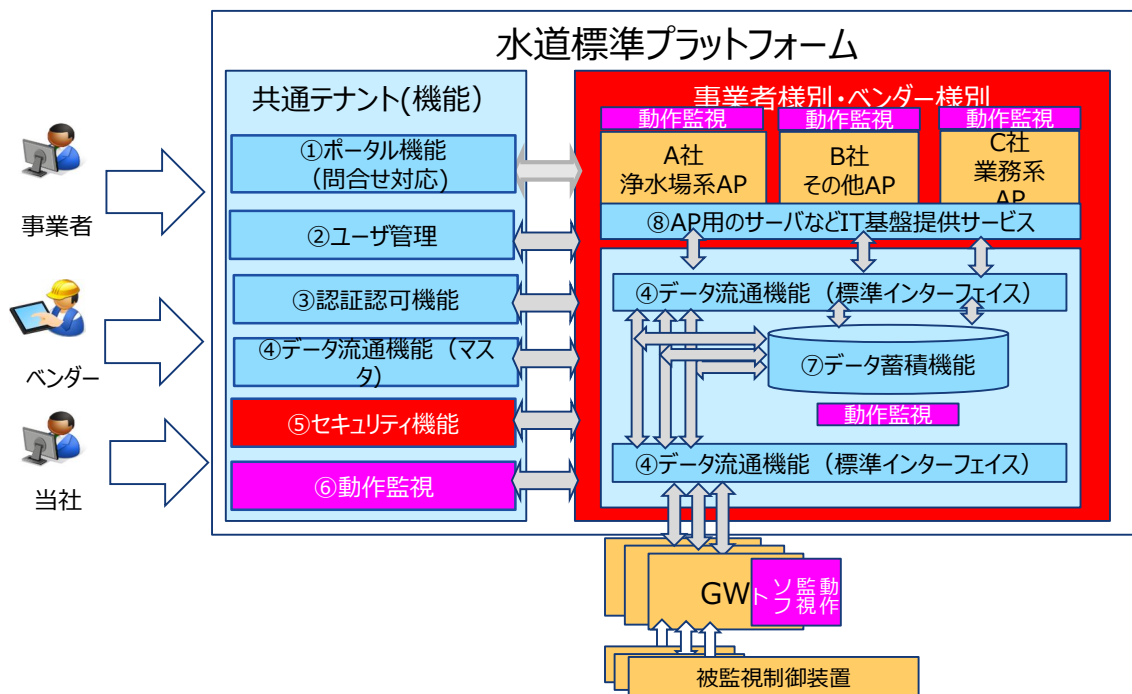
⑥はプラットフォームの各機能、アプリケーション、GW及び回線の状態動作監視をするサービス

＜主なサービス概要：課金形態＞

＊「データ通信経路」や「蓄積されているデータ」の暗号化・複合化を設定できるサービス
＊外部からの侵入を防御・検知するサービス
→LGWANなどの内容を踏まえて詳細ご説明予定 <セキュリティ内容に応じて課金>

＜主なサービスの概要：課金形態＞

各システムの部位の動作状況を収集する機能を配置し、事業者、ベンダー及びプラットフォームでそれら情報を共有するサービス
<動作監視部位数に応じて課金>



⑦データ蓄積機能サービスの概要⑧ベンダ向けIT基盤保守サービスの概要

⑦はデータの蓄積の設定を提供するサービス

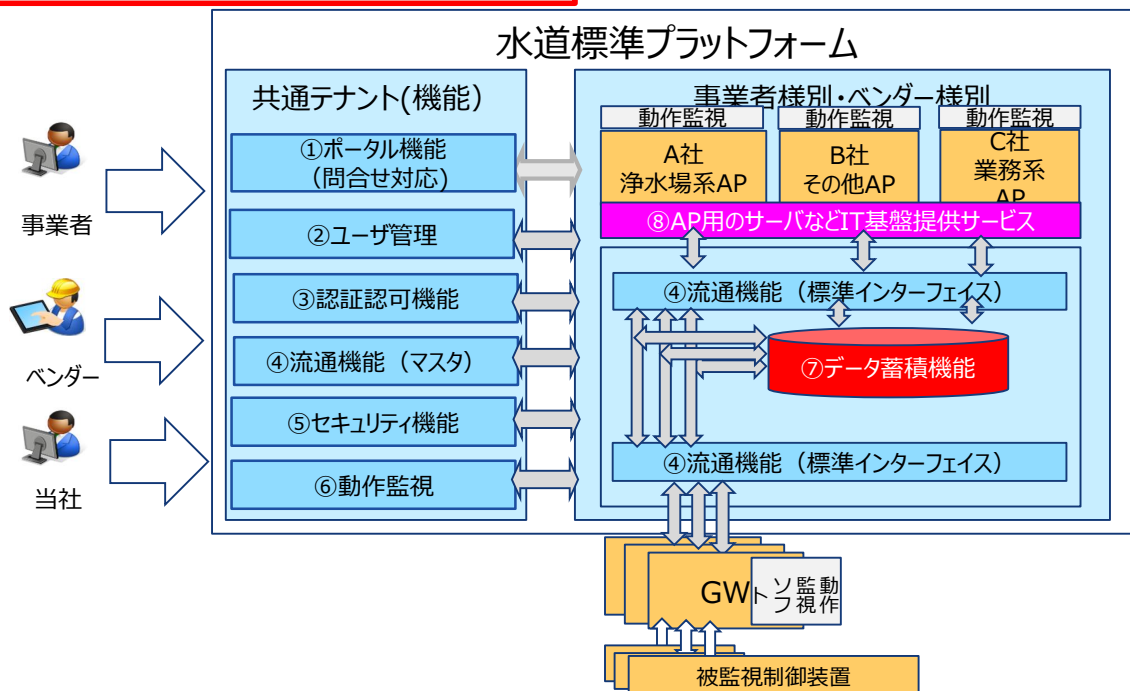
＜主なサービス概要課金形態＞

- * 事業者やアプリケーションやGWが活用するデータを、蓄積する機能サービス
- * 上記データ項目毎に保存期間、保存粒度等を設定することができる
- * 事業者同士が割り勘でつかうことができるサービスも提供＜蓄積容量に応じて課金＞

⑧は、ベンダーアプリケーション開発・維持・保守に関するサービスを提供

＜主なサービス概要：課金形態＞

- * ベンダーアプリケーションに必要なIT基盤、IT商品を提供可能なサービス
 - * 任意でプラットフォームでIT基盤の保守・支援をするサービスも提供可能
- ＜別途利用見積をご提示＞



価格表について

価格表について、現在のご提示している内容を「別紙 1」としてご提示します。
プラットフォームでシステムを実現するための予算化に資する最低限の情報として現在提供しています。
→今後段階的に見直したものを提供・共有いたしていきます。
→現在は、閉域環境のプラットフォームとしてバックアップ機能を前提に、例えば監視制御データのデータ間隔などは1秒で設定しております。今後実態合わせた形で費用算出ができるようにプラットフォーム側のメニューを整理します。さらに、SLAなど条件についても明記します。

導入に関する
サービスと
価格

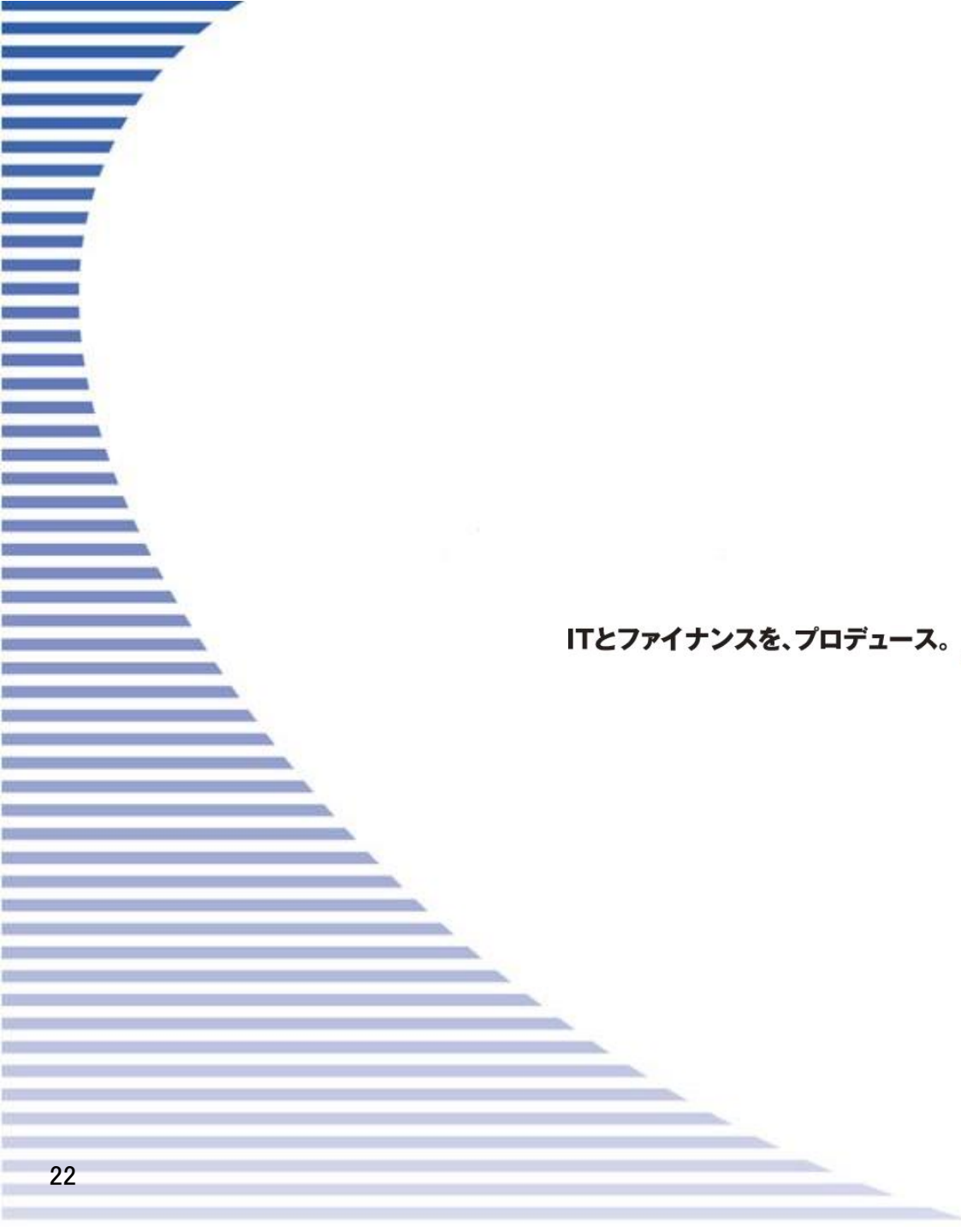
利用時に関する
サービスと
価格

本価格表につきましては、以下問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

株式会社JECC 事業開発部

Mail : jecc-wsp@jecc.com



ITとファイナンスを、プロデュース。 JECC